

🇧🇷 ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2019年5月20日

【2019年5月11日～2019年5月17日までの推移】

【1】先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は上昇しました。ボルソナロ大統領の政権運営能力への疑念が高まったことなどから、ブラジル国債、ブラジル・レアルともに売られました。また、発表された経済指標が弱含んだことも市場の重石となりました。

ブラジル連邦政府が大学などの教育機関への予算凍結を発表したことで、ボルソナロ政権にとって初の大規模デモが発生しました。また、予算凍結を決定したアブラアン・ウェイントラウビ教育相を下院本会議に召喚する票決が行われました。票決は反対の82票を大きく上回る賛成307票で可決され、あらためて政府と議会のあつれきが意識されました。こうした混乱の中、ボルソナロ大統領とゲデス経済相は米国ダラスを訪問するなど、ボルソナロ大統領の政権運営能力への疑念が高まり、ブラジル国債、ブラジル・レアルともに売られました。

経済指標に関しては、3月の経済活動指数などが発表されました。3月の経済活動指数は予想を上回る悪化となり、足元のブラジル経済の見通し悪化を裏付ける内容となりました。

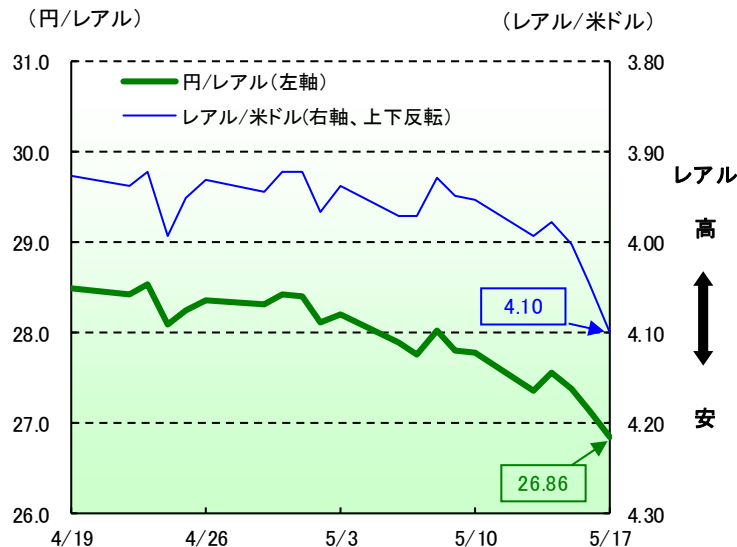
【2】今週の見通し

今週は、各種インフレ率などの経済指標の発表が予定されています。

大規模デモの引き金となった教育機関への予算凍結に関しては、同教育相が年金改革法案が承認されない限りさらなる予算削減も辞さない姿勢を見せており、さらに混乱が拡大する可能性があるため注意が必要です。また、地元紙がマイア下院議長とボルソナロ大統領の次男であるフラヴィオ・ボルソナロ上院議員に不正取引の疑義があると報じており(両氏とも疑義を否定)、経済指標の悪化に加え、政治的混乱が足元のブラジルマーケットのセンチメント悪化に拍車を掛けています。こうしたことから、しばらくはブラジルの政治リスクにも注意が必要と考えます。

【ブラジル・レアル 為替推移】

(2019年4月19日～2019年5月17日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2019年4月19日～2019年5月17日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management